

事後評価点検表

事業名	阪南港 阪南4区 多目的国際ターミナル整備事業
担当部署	都市整備部港湾局計画調整課事業グループ (連絡先 0725-21-7357)
事業箇所	貝塚市二色北町地内
内容	多目的国際ターミナル整備事業 岸壁 (水深 12m、延長 240m) 航路浚渫 (水深 12m、133,000 m ³) 泊地浚渫 (水深 12m、610,000 m ³) 臨港道路 (延長 610m、2車線)
関連事業とその現状	阪南4区港湾機能施設整備事業 企業公募面積: 22.4ha、契約済: 19.0ha (85%)
社会経済情勢の変化	・最終評価時点と完成時点とで、本事業をとりまく社会経済情勢に大きな変化は見られない
事業実施による自然環境の変化	・既存護岸の前面に岸壁を設置するもので、海域への影響は少ない。また、施工時には汚濁拡散防止膜を設置し、周辺の自然環境への影響を抑えて施工を行った。 ・陸上輸送距離の削減により環境への負荷軽減 (NOX, CO2 の削減)
最終評価時の意見 具申と府の対応	【最終評価時の意見】 ・なし

	【最終評価時点 H18】	【完了時点 H19】	【分析】
事業費	63.2 億円	62.8 億円	
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	①11年 ②平成9年度 ③平成9年度 ④平成19年度	①11年 ②平成9年度 ③平成9年度 ④平成19年度	予定通り完成
定量的効果 (費用便益分析等)	【B/C】 B/C=1.36 便益総額 B=96 億円 総費用 C=70 億円	【B/C】 B/C=1.33 便益総額 B=100 億円 総費用 C=75 億円	【B/C】 大きな変化はない。
定性的効果	<ul style="list-style-type: none"> 震災時等の阪南地域の物流輸送拠点となる。 外貿埠頭の整備により阪南地区の物流拠点を創出し、物流ネットワークを構築することで阪南地区の港及びその背後圏を活性化する。 大型船舶の入港が可能になることで阪南地区の物流が効率化し、物資の迅速な供給が可能となる。 	・同左	所期の目的を達成。

その他特記事項	なし
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 事業期間や事業費等について大きな変更はなく、ほぼ当初の事業計画どおりに完成。
今後の同種事業に対する改善措置等	<ul style="list-style-type: none">・ 本府の厳しい財政状況により、新規の岸壁事業は原則休止。・ 新規岸壁事業を再開する場合は、重点投資により早期の効果発現を目指す。